



秘 第 1 1 4 号

平成19年5月9日

国土交通省道路局長 様

大網白里町長



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について
平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありましたこのことにつ
きまして、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

本町は、千葉県のおぼ中央に位置し、西は県都千葉市に隣接、東は太平洋に面し、主要な道路としては、南北方向に国道 128 号が、東西方向に主要地方道千葉大網線、山田台大網白里線が走っています。

本町の道路交通を取り巻く環境をみると、千葉東金有料道路、東金九十九里有料道路、九十九里有料道路による広域通過交通の増大と共に、都市化が進行しており、今後も市街地開発事業等の整備に伴い、市街地から発生する交通の増加が見込まれ、健全な都市生活、円滑な都市活動の確保が課題となっています。

また、県内の首都圏中央連絡自動車道の整備が順調に進む中、供用開始が平成 21 年度に木更津東 IC～茂原長南 IC、平成 22 年度に茂原長南 IC～東金 IC・JCT が予定されていますが、整備効果を的確に本町に取り入れるためにインターチェンジ及び周辺道路整備並びに近隣の拠点都市と一体性を強化する広域的な幹線道路整備（国道 128 号の 4 車線化）を図る必要があります。

特に、本町及び隣接の千葉市緑区土気地区周辺は、人口約 10 万人を擁すと共に、夏の観光シーズンには白砂青松の九十九里浜に県内外から例年 110 万人以上の海水浴客が訪れることから、首都圏中央連絡自動車道の利用促進の観点からも本町内への IC の設置が強く望まれているところです。

このような状況から、本町を取り巻く幹線道路網は未だ脆弱であると言わざるを得ず、将来の交通需要に対処した交通体系整備が本町の重要課題となっています。

つきましては、今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画を作成するに当たりましては、首都圏中央連絡自動車道の整備を推進していただくことはもとより、本町域にインターチェンジ（簡易型）設置の推進並びに本町を取り巻く広域的な幹線道路網を形成する国道 128 号等の 4 車線化、バイパス化等、国県道及び日常生活の基盤となる市町村道の整備において、国庫補助事業等により間接的に計画的整備のご支援をいただけるよう考慮されることを希望

いたします。

なお、蛇足ながら道路特定財源は、これまで長年にわたり計画的に我が国の道路整備をするための財源として貢献してきたものであることは申すまでもありません。

しかしながら、一部において道路整備の進んだ近年、その必要性への疑問等から抜本的な改革が必要との声があると聞きますが、地方の道路環境から鑑みれば一般財源化についてはすべきでないと考えます。

地方の実情を勘案し、地域間格差への対応や生活者重視の視点を踏まえつつ、本当に必要な道路は作っていただくよう配慮をお願いするものであります。